

ホスピタウンハウスへの想い

「ホスピタウンハウス」は生活の場であって、医療施設ではありません。豪華ではありませんが、温かさがあり、笑顔で、最期まで安らげる家でありたいと思います。

にしくまもと病院が横にあり、いざという時にはどうにかかるという安心感が、ケアスタッフの（心の）支えになり、入居する人のくらしを支える、ケアやサポートができる家（高齢者住宅）を創りたい、と思ってきました。

入居者が、自分らしく自然体で最期を迎えることを支える家。住み慣れた自分の部屋で、看取りのできる家。そして「自分が入りたい、自分の親を入れたい」と思える高齢者向けの住宅にしたいと思っています。



院長 林 茂

ホスピタウンとは

「ホスピタル」と「タウン」を合わせた言葉で医療・福祉・保健の充実した安心して住みやすい街づくりという、当院が目指すビジョンです。

サービス付高齢者向け住宅とは

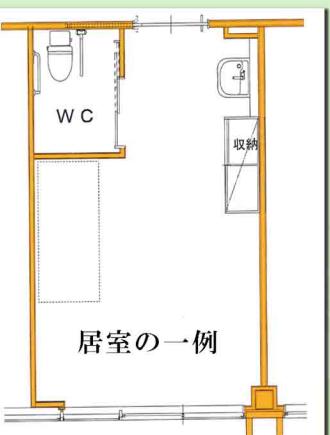
日常生活や介護に不安を抱く高齢の単身者や夫婦のみの世帯のために、バリアフリー構造等ハード面の一定基準を満たし、さらに介護・医療と連携したサービス面も提供する施設です。



開設準備室長 松本武敏（内科医）

ホスピタウンハウスの概要

- ◆名称 / サービス付き高齢者向け住宅（特定施設）ホスピタウンハウス
- ◆所在地 / 熊本市南区富合町古閑 1012 番地
- ◆住宅戸数 / 33 戸
- ◆居住の規模 / 18.00 m² ~ 24.60 m²
- ◆構造 / 鉄骨 2 階建て
- ◆家賃 / 40,000 円 ~ 55,000 円
- ◆共益費 / 45,000 円（水・光熱費含む）
- ◆食費 / 45,000 円
- ◆敷金 / 家賃の 3 ヶ月分（入居時）
- ◆入居対象者 / 60 歳以上の方
(主に、要介護・要支援認定を受けておられる方)
- ◆居住の権利形態 / 貸借契約
- ◆利用料の支払い / 月払い



ホスピタウンハウスは
にしくまもと病院に併設！

安全祈願祭を行いました

7月5日（金）ホスピタウンハウスの安全祈願祭を行いました。当日は富合町木原の六殿宮の宮司にお越しいただき、当職員と工事関係者が集まって工事の安全を祈念し、肅々と執り行われました。工事期間中、当院利用者ならびに近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願ひします。



開設準備に携わって

開設準備室 渡邊千代美（看護師）



院長のかねてからのホスピタウン構想が結びの時を迎えようとしております。林院長が語られた開設にあたっての思いを形に成すことができるよう、法人内各署の協力を得ながら、準備を進めているところです。

これから社会において、病院での入院治療の期間は限られており、お一人暮らしの方やご自宅での生活に不安を抱えられる方も少なくないと思います。お一人お一人の長くお過ごしになったご自宅には及びませんが、「あたたかく、安らげる住まい」をご提供できるよう、こころを込めてお迎えいたします。これから出会う入居者の方々の「日常に寄り添う」ようなスタンスで、かけがえのない時間を歩んでいけたらと思っております。

入居のお受け入れについて

職員の介助を受けて おおむね 共同生活が可能な方。下記のような 医療ニーズのある方もできるだけお受け入れできるよう、相談を承ります。

胃ろう・吸引・人工肛門・バルーン留置・在宅酸素・ペースメーカー・透析（※送迎の対応が可能な方）・インシュリン使用・悪性腫瘍など

※入居される方の状態を確認させて頂き、当施設で対応が可能かどうか検討させて頂きます。まずはご相談下さい。

毎月の利用料金（参考）

C タイプ家賃	共益費（水・光熱費含）	食事代	合 計（C タイプの場合）
55,000 円	+45,000 円	+45,000 円	=145,000 円

その他の費用

- 入居時の敷金（家賃の 3 ヶ月分）
- 介護保険等利用の場合の自己負担金、もしくは介護保険外の費用
- 治療を受けた場合の医療費
- 入居者の依頼によるもの（買い物・洗濯・乗り物代など）

入居のご相談・お申し込みは ホスピタウン開設準備室（渡邊・野方まで）

電話（096）358-1118（代表）